Car&Drive2021

安全に迫力と疾走感

D'ステーション レーサーズ（太田市植木野町）

世界中のサーキット 自分好みの車で体験

D'ステーションレーサーズ（太田市植木野町）は、2017年8月に開業したレーシングシミュレーター（SIM）の専門店だ。運営するNEXUSグループ（高崎市島野町、星野敏代表）は、自動車レースチームのD'ステーション・レーシングを所有。今年は世界三大レースに数えられる「ル・マン24時間レース」（6月、フランス）への初出場を表明するなど世界規模で活躍している。そのトレーニング用として開発されたSIMだけに、本格的なサーキット走行を疑似体験できる。

SIMは2基あり、それぞれ55㌅モニターを3面備える。音響と視覚効果により、時速270㌔の世界を体感できる。コースは日本国内だけでなく世界中のサーキットから選べるため、国際大会の会場に使われるような自動車ファン憧れのコースを走ることも可能だ。

まず、同店のスタッフでレーシングドライバーの野島俊哉さん（22）が運転する様子を見せてもらった。選んだのはドイツ北西部にあるニュルブルクリンクというサーキット。何と1周約20㌔もあるというから驚きだ。山間部にあるため、高低差も300㍍ほどあるという。

モニターを見ていると、ものすごいスピードで走り抜けていく。下り坂やカーブの場面は迫力満点で、怖さを覚えるほど。でも、事故やけがとは無縁だから安心だ。

eモータースポーツのほか、実車でも活動しているという野島さんは「SIMでコースの特徴をしっかり頭に入れると、実車で走った時にも違和感がない」と話す。

同じく同店スタッフで、SIMのプログラムアドバイザーを務める坂本大亮さん（23）によると、選べるサーキットや車種は増やすことができる。同じ車種でも性能を細かく設定できるため、プロのドライバーが〝自分の車〟で練習することができるという。

実際にSIMを体験させてもらった。グローブを着け、運転席に座る。アクセルを限界まで踏み込むという、普段の運転ではまずあり得ないことをしてみた。慣れないスピードに対応できず、カーブですぐにコースから外れてしまった。

「運転する時にすぐ近くを見てしまいがちだが、遠くを見るのが大事」と野島さんがアドバイスしてくれた。気を取り直して運転を再開。コースを外れないように必死で操作した。コロナ禍で気軽に出掛けられない中、県内にいながら世界中のサーキットを体感できるのは魅力だ。

須藤彰憲店長（34）は「仲間同士で来店して、対戦走行を楽しむ人もいる。サーキットを走ってみたい人はぜひ体験してみて」と呼び掛けている。

レーシングシミュレーターを操作する野島さん。3面の大型モニターにリアルな景色が映り、本格的なサーキット走行を疑似体験できる

2基のシミュレーターが並ぶ店内。仲間同士で対戦走行を楽しむこともできる

「ぜひ体験してみて」と呼び掛ける野島さん（手前）と須藤店長（後方右）、坂本さん

【メモ】営業時間は午後1時～同10時。基本走行料は5分500円～。グローブとシューズは無料レンタルがある。☎0276・20・2424